広域圏のいまを伝える夕刊紙

桐生タイムス

7月20日 水曜日　2005年(平成17年) 第15753号

夕刊 桐生タイムス　(昭和21年2月8日第三種郵便物認可)　〈日刊〉

発行所／桐生タイムス社
桐生市東四丁目5-21 TEL0277-46-2511(代)
〒376-8528 郵便振替00310-5-12247

購読料1部80円 1カ月1,950円
●お申し込みは ハヤク ヨクヨム 0120-89-4946
●編集直通 TEL46-2001 FAX46-2545
●広　告 TEL46-2511 FAX46-2540
●タイムス案内 TEL46-2536
●折り込みチラシのお申し込み TEL46-2211 FAX46-3838

人と地球に優しい21世紀型紙壁紙
環壁(かんぺき)シリーズ 壁紙
化学的にも証明
○ホルムアルデヒドを出しません。
○有害な物質を含んでいません。
○不快な臭いを出しません。
○燃やしてもダイオキシンを出しません。
★糊はセラフィールを使用して下さい。
健康な暮らしのお手伝い
株式会社 インテリア モリヤマ
☎54-6655

カイコの卵から製品づくりまで

全工程を見せます

工場と店舗融合し新拠点

春繭だけ使いニット

自立化に挑む(上)
桐生産地の取り組み
ミラノリブ

織維業界の中小製造業が下請けから脱し、構造改革を行うのを支援する国の中小織維製造事業者自立事業。桐生産地からは今年度、ミラノリブ、フジレース、野口染色の3件が採択された。このうち、群馬県産の絹にこだわったニット製品づくりを行っているミラノリブ（大間々町大間々、笹口晴美社長）は養蚕農家と契約し、カイコが卵の段階から最終製品になるまでを一貫させ、「ものができるまでの全工程を顧客に見せられる」新事業を展開する。桐生市内に工場と店舗の両機能を一体化させた拠点を設ける。

ミラノリブは1998年5月創業。当初から県産の絹糸によるニット製品をつくり続けてきた。新事業は「消費者により近いところでものづくりをしたい」と会社を起こした笹口社長にとって念願だった試み。「ぐんまの絹」へのこだわりをさらに深化させ、糸がつくられる最初の段階である養蚕からかかわる。

旧大胡町の養蚕農家と去年契約。桑の葉に生命力がある時期に育てるため、品質が良いとされる春繭に限定し、専用にカイコを飼育してもらっている。取れた繭は碓井製糸農業協同組合に持ち込んで糸に引く。初めての糸が今年できあがった。

生糸に撚（よ）りを掛け、桐生市内で染め、編み立てと縫製を社内で行い、製品化する。笹口社長は養蚕から手掛ける理由を「手づくりのものに込もった気持ちを最初から最後までつなげたい。その商品はきっと何かを語るはず」と話す。

工場と店舗の機能を一体化させた拠点を設けるのは、本当の意味で「顔が見えるものづくり」を行うため。「製造と販売を一つにし、現場を見てもらうことに意味がある。希望する人は農家まで案内し、養蚕の現場まで見せたい」という。現在は場所を検討している段階。年内に移転を完了し、年明けにオープンする計画だ。

新ブランドとしての立ち上げを予定しており、「海外も意識したブランド名を考えている」。専用のシステムを導入し、顧客の要望を聞きながら、オリジナルの柄や配色を施すオーダー形式のものづくりも受ける。インターネットを通じた販売も視野に入れている。

「地元ですべてつくり上げ、ここでしかできない特徴あるものづくりで付加価値を高めたい」と笹口社長。「群馬の絹、日本の絹を産地から発信し、外から人を呼べるような仕掛けをつくりたい」と語っている。

群馬県産の絹糸へのこだわりを深化させた新たな事業に着手する

養蚕農家と契約して自社用に飼育してもらった春繭で糸をつくり、製品化まで行う

群馬銀

業務改善計画を提出

不祥事再発防止へ一丸

行員の不祥事で6月に業務改善命令を受けた群馬銀行（四方浩頭取）は19日、業務改善計画を提出したと発表した。同行は「深く反省し、不祥事の再発防止に努めたい」としている。

頭取による「コンプライアンス宣言」と全職員による宣言への署名を行うほか、ワーキンググループを新設。「事務リスクワークシート」によるリスクの洗い出し作業完了に伴い、改善策を策定する。顧客に対しては取引残高通知を送付する。

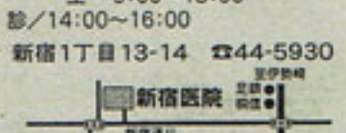
また、不正防止を目的に全店に「デジタルシステム」を導入。監査部門の人員も増やす。

紙折機、コレーター
医療機器等の製造卸販売

〔コレーター〕
株式会社 太陽技研
本社：山田郡大間々町大字大間々385-1
TEL.0277(73)3111
FAX.0277(73)7466

風花の舞う街で
第二部
森戸 晃子
郷へ、郷へ、
あの頃に戻るために——
日増しに深まる戦時色、日本中が暗かった時代、
両親の深い愛情に包まれて、少女は明るく生き続けた
親子に流れるやさしく温かい時間を描いた私小説
——桐生高女の名物教頭「コバカン」も登場
養母と二人、新しい暮らしを始めた東京から、再び桐生の地を踏んだ晃子は、度重なる転校にも負けず明るく前向きに生きることを忘れなかった。心のふるさと大間々を舞台に、伸びやかに成長を遂げる少女と温かく見守る養父母の絆を生き生きと描き出す。
四六判・上製・320頁　定価1,890円(税込み)
文芸社 東京都新宿区新宿1-10-1
TEL.03-5369-2299 FAX.03-5369-3066

高く買う ちけっとしま屋
印紙切手 テレカ
旅行券 ビール券
クオカード 商品券
プリカ各種 高速券
金 プラチナ製品 宝石 時計
http://www.city.kiryu.gunma.jp/shimaya/
☎0276-48-6033 太田駅南口1分

Shinsyuku Clinic
新宿医院
内科・消化器科・小児科・婦人科
院長 菊地和男　副院長 菊地一真
診療時間／月～金 9:00～13:00 16:00～18:00
土 9:00～13:00
往　診／14:00～16:00
新宿1丁目13-14 ☎44-5930


たのしさの創造。

パチンコメーカー
株式会社 ソフィア
桐生本社／桐生市境野町7丁目201 Tel.0277(45)0301㈹
太田事業所／太田市吉沢町990 Tel.0276(36)1717㈹